

## 食いしん防災コミュニティ部会がいく！

(第76回 2024年9月)



食いしん防はクルマの運転が好きである。かと言って、スピードを出したいわけではない。信号や交通量の少ない一般道を制限速度でのんびりと走るのが好きなのだ。

山道とともに好みなのが、川や海に沿ったコースである。ということで、海沿いを走る四国一周ドライブ（2泊3日）に行ってきた。

淡路島から鳴門に上陸。そのまま時計回りで海にできるだけ近い道（私道や生活道路は除く）を選んで走る。徳島県から室戸岬を経て高知県に入り、四万十の河口までが1日目。高知市から西を訪れるのは初めてである。翌朝、夜明けとともに出発。足摺岬を経て愛媛県に入り、佐田岬の先端まで行ってから瀬戸内海沿岸を東進。その夜は、今治の近くにある親戚の家に泊めてもらった。最後の日は、香川県を経て、再び鳴門から高速道路にのって帰宅した。3日間で1,600 kmの旅を堪能した。

いちばん印象に残ったのは、早朝の四万十川の美しさだった。広く静かな河面に朝焼けが反射するさまは、まぶたに焼きついて離れない。他にも高知県の九州側海岸は、すばらしい眺望の連続。食事では、愛媛県宇和島の『南予風鯛めし』が絶品だった。



↑ 南予風鯛めし

高知県は昔ながらの自然が残っているところが多く、家屋も昭和な建築がほとんど。何十年も前から変わらない景色なんだろうなあと感じさせられ、心がほっこりした。ただ、大きな工場がほとんど無く、経済的には苦しいかなと想像する。

一方、徳島市・松山市・高松市の近辺は、海沿いが広範囲に埋め立て造成され、大規模な工場が並んでいた。運送トラックもたくさん見かけた。高知の自然とは対照的だったが、この工業地帯は南海トラフ地震が起きれば、壊滅的な被害をこうむるだろう。

そもそも日本の製造業は、海の近くに集中している。原料や製品の輸出入、流通の利便性のためである。しかし津波に襲われれば、全滅に近い打撃を受ける。そんな危険性も感じた3日間の旅だった。

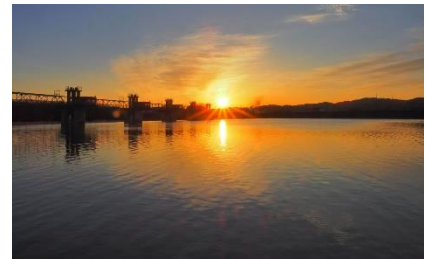
べつに「高知のように工場を作らず自然を残せ」と言いたいわけではない。目先の効率だけを追い求めると、いずれ手痛いしっぺ返しをくらう。このリスクに目をつむって災害対策をしてもあかんのではないか、と思うだけだ。これらのことを真剣に憂える政治家は見当たらない。このまま南海トラフ地震が発生したら、この国はどうなってしまうのだろうか？



左から 徳島市の沖洲工業団地、愛媛県松山市の新松山工業団地、香川県坂出市の番洲工業団地



←高知市の桂浜



↑夜明けの四万十川！

## TOPICS

### ☆台風 10 号が猛威をふるう

“ノロノロ台風”の異名をとった今年の台風 10 号。南の海上に発生してから自転車なみの時速 15 km で北上し、ヨロヨロと頻繁に進路を変え、テレビを見るたびに予報円の位置が変わった。いったん九州に上陸してから四国の南海上に進み、やがて速度は自転車より遅い時速 10 km で四国や紀伊半島をウロウロし、熱帯低気圧になって消えた。その間、1 週以上に渡って日本各地に大量の雨を降らせ、川の氾濫や土砂災害を招いた。

幸いにも東近江市はさほどの風雨にも襲われず、目立つ被害もなかった。しかし今後は、このように巨大で甚大な被害をもたらす台風が多く発生するだろうと予測されている。そんな自然災害から、私たちはどのようにして身を守ればよいだろうか。

湖東地区の大部分において、警戒すべきは雨よりも風かもしれない。平成 30 年の西日本豪雨において湖東地区で出た死者は、2 人とも風によるものだった。どうやら永源寺から愛東、湖東、愛知川、能登川と続くラインは、琵琶湖西岸の高島あたりと並んで、県内でももっとも強風が吹きやすい地域とみて間違いないようだ。過去には竜巻が発生した事例もみられる。



強風から身を守るためには、まず情報収集が欠かせない。もし『暴風警報』が発令されたら、絶対に家屋の外に出てはならない。雨戸を閉めるなどの対策は、必ず風雨の前に行っておくこと。おそらく警報は、本当にひどくなる前に発令される。避難するならそのタイミング。ひどくなってきてから外に出るのは危険だ。

1 人暮らしの高齢者、または高齢者だけの世帯があれば、隣近所全体で気にかけて、時には避難の手伝いをしてあげることも必要だろう。災害に対しては、コミュニティの強さが決め手となるのである。

### ☆防災カフェのお知らせ

『防災カフェ』という防災について自由に語り合い学び合う場が、滋賀県防災危機管理局によって設けられている。なんともう 90 回も開かれていた！ その 91 回目となる『防災カフェ』が、9 月 13 日(金)の 18 時 30 分から 20 時の予定で開催される。防災に関心がある人なら、だれでも参加できる。

今回は『被災地での支援活動レポート ～避難所支援からの学び～』をテーマに、

1月1日に発生した能登半島地震での避難所支援活動を中心に、被災地の様子や今後の災害への備えについて語り合う。能登町に赴き支援活動に取り組んだ県職員の活動報告もある。

参加希望の方は、以下の URL、ID、パスコードは以下の通り。下記のリンクをクリックしてウェビナーに参加してください。

<https://zoom.us/j/91786011524?pwd=FEMDbM8oPL0vnuEvqnxQhh6pH6mtaC.1> ウェビナーID：917 8601 1524 パスコード：971298

また、滋賀県危機管理センター1階エントランスホールでの参加も可。(電話やメール等での予約が必要。中止の場合は、9月13日の14時までにHPで告知)

**興味のある方はぜひご参加ください！**

### ☆お詫びと訂正

前回のこのコーナーで、大沢町が防災運動会を企画していると言ったが、これは長町の間違いでした。どうやらそそっかしい食いしん防が『おおさわ』と『おさ』を聞き間違えたらしい。大丈夫か食いしん防。我ながら不安である。

### 今後の活動予定

9月13日(金) 防災ゲーム体験(平柳町)

※ 出前講座の申し込み受け付けます！

### 勝手にQ&Aコーナー

Q：強風への対策が必要とのことですが、雨戸を閉めるほかにどうすればよいのでしょうか。我が家では以前瓦が飛んで大変でした。

A：食いしん防の家も瓦が破損し、修理できるまで1年ほどブルーシートがかぶせっぱなしだったことがあります。強風でもものが飛んで他のものを傷つけては大変。飛びやすそうなものを片付けたり、縛ったりもできればしてください。ふだんからしておけばなお良いですね。

Q：今回はやたら真面目な内容に感じます。何か鯛めし以外に変なものでも食べたのではありませんか。もしくは何かの霊に憑依されたとか。

A：ハハハ、もう悪意のある質問で腹を立てたりしませんよ。地獄へ落ちろと呪ったりもしません。丑の刻参りもやめました。……って、してたんかい！ いや、してませんって。冗談よジョーダン。(目が笑っていない)

楽しい質問、お待ちしております！



(文責：こじまっちょ)